

Table with columns: 分類, No., チェック項目, 基本, チャレンジ, 具体的な取組み, and 17 numbered columns for SDG goals. The table is divided into three main sections: 組織・公正な取引, 労働・人権, and others. Each row contains specific implementation details and corresponding SDG target numbers.

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

更新

事業者名: 株式会社水野建設コンサルタント

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・2001年より継続的に維持しているISO9001品質マネジメントシステムにより、引用規格(法規程(環境基本法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、廃棄物処理及び清掃に関する法律等))を定め、廃棄物、有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理をすべての社員に対し、周知徹底している。 ・「熊本県環境保全協議会」に所属し、研修会等への参加を通じ、社員への啓発、意識の徹底に努めている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・平成20年5月に社内外すべての照明器具をLED化し、消費電力の抑制を図っている。 ・随時、空調機器を更新し、消費電力の抑制を図っている。 ・令和2年4月に太陽光発電システムを設置し、消費電力の抑制を図っている。 ・執務外の昼休みに照明を消灯し、消費電力の抑制を図っている。 ・社用車の一部をハイブリッド化し、エネルギー使用量を抑制している。								7.3					13							
	24	【温暖化対策】 自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・令和2年4月に太陽光発電システムを設置し、温室効果ガスの排出量抑制を図っている。 ・社用車の一部をハイブリッド化し、温室効果ガスの排出量を抑制している。 毎年、簡易計算シートを使ってCO2排出量の算定を行い把握している。			2.4											12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・ISO9001品質マネジメントシステムにより、引用規格(法規程(環境基本法、資源の有効的な利用の促進に関する法律等))を定め、生物多様性、生態系等への悪影響を認識し、廃プラ、レジ袋の使用削減について、すべての社員に対し、周知徹底している。 ・現場作業時におけるゴミの持ち帰りを、社員に徹底させている。 ・国交省、県、市町村からの委託業務を通じ、緑地、水辺、河川の整備等、生物の生息、生息地の創出に取り組んでいる。							6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ISO9001/2015年版により品質マネジメントシステムの構築により、ペーパーレス化を推進している。 ・コピー用紙については、再生用紙のみの購買とし、裏紙使用を促進している。 ・再使用(リデュース)、再生利用(リサイクル)を前提とし、廃棄物の分別をすべての社員に対し、周知徹底している。											9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・水資源の保全を前提とし、節水指導をすべての社員に対し、周知徹底している。 ・汚水については浄化槽処理から公共下水道処理へ切り替え、適切な汚水処理を行っている。 ・社内設備(便器、水栓等)を随時、節水型へ更新し、節水対策を実施している。 ・社員駐車場のアスファルト舗装を透水性舗装により更新した。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5				14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・環境保全を前提とした製品の購買について「グリーン購入」を推進している。 ・コピー用紙については、再生用紙のみの購買としている。												9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・会社行事等において、食品ロス対策としての「30・10運動」をアナウンスし、食べ残しの削減を啓発している。			1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・緑の創出を前提とし、社の敷地内に花壇を設け、植栽している。 ・NPO21くまもと「金峰・有明環境会議」が主催する植樹活動に賛同し、率先参加している。 ・緑の創出、保全のため「ASO環境共生基金」への寄付を毎年行っている。														11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・令和2年4月に太陽光発電システムを設置し、エネルギー使用率の改善を図っている。												9.4				11.5		13.1 13.3		
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6								11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	33	【植林等の取組み】 植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・平成24年よりNPO21くまもと「金峰・有明環境会議」が主催する植樹活動に賛同し、年2回植樹と伐採に参加している。 ・NPO法人「菊池公園歴史の森」の理事として、事業へ参画し、放置竹林の伐採や桜や紅葉樹、柑橘系の植樹等を行い、公園周辺の眺望改善や柑橘の収穫体験等に繋がる活動を実施している。また、それらに賛同した法人への寄付の実施している。							6.1 6.3 6.6								11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	34	【海洋ごみ】 環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・NPO法人「みらい有明・不知火」の賛助会員として、事務局の理事も務め、各種のフォーラム等へ参加し、海洋汚染等の防止、削減について、すべての社員に対し、周知徹底している。 ・プラスチック製品の使用削減や環境にやさしい素材の使用に関する指導をすべての社員に対し、周知徹底している。															12.2 12.5		14			
35	【環境に配慮した交通手段】 電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●																		11.2		13.1 13.3			
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●																			11.6 11.a	12.8	13		17.2

SDGs達成に向けた取り組みチェックリスト

更新

事業者名: 株式会社水野建設コンサルタント

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・ISO9001品質マネジメントシステムにより、成果(報告書等)の作成過程で生じるリスクを決定し、すべての社員に周知徹底している。 ・成果(報告書等)に関するインプット情報の確認、アウトプット、サービス提供、顧客からのフィードバック等一連の管理規定による精度管理体制を構築し、不良品を出さないためのチェックリストに基づき、質の高い成果を提供している。 ・顧客からのフィードバック(顧客満足度調査(アンケート)、業務成績評定点、優良業務表彰、感謝状等)について、関与したすべての社員が共有し、分析と継続的な改善を行っている。										9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・国交省、県、市町村からの委託業務を通じ、公共施設等において、ユニバーサルデザインを考慮した土木設計に取り組んでいる。 ・執務環境の整備として、誰もが使いやすいドアノブ(レバーハンドル)への交換や段差解消等の更新工事を行った。										9.1	10	11.7						17			
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●																					17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●																					15	
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・購買対象物(文房具、コピー用紙、備品等)について、再利用(リデュース)、再生利用(リサイクル)の製品を選定し、購入している。																					17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●																						17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・各社員が居住する地域の活動やボランティア活動に、積極的に参加するよう奨励している。(しらかわの日~流域一斉清掃~) ・地元根差す事業者として、地域の活動、自治会活動に協力している。 ・社員が当番制で平日早朝、周辺地域の清掃活動を実施している。 ・災害発生に伴う地域が抱える問題解決の援助として、参画する協会を通じ、寄付を行っている。(白川流域リバーネットワーク)																				17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・熊本県内のハザードマップを、すべての社員に周知している。 ・社屋内に防災備蓄、防災グッズを常備している。 ・BCP(事業継続計画)を策定済み、災害発生時における事業継続の方法、手段を決定している。																			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●																						17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●																						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・当社が受託する業務の発注元である国、県、市町村のSDGs活動を認識し、社員に対し、啓発活動や教育機会の提供を行っている。 ・社員に対し、SDGsに関する研修会等を実施し、SDGsへの理解度を深めている。																					17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・当社のリクルート活動の一環として、随時、高校、大学、高等専門学校からの会社訪問、インターンシップ等を積極的に受入れている。 ・当社が参画する協会を通じ、地域の学生等に対し、研修会、講習会等を実施している。																				17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・熊本県内の実業高校で企画された測量実習への講師派遣等を実施している。 ・熊本県内の高校生に向けた「建設企業の魅力発見フェア」出展した。																				17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●																						17

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。